

しつ問：どんな問題が出されますか？

答え：「考える力・決める力・伝える力」をみるために、文章を書く問題が出されます。ふだんの生活に近い場面の問題が多いので、そこで考えたことを、自分の言葉で説明してみましょう。

しつ問：考える力・決める力・伝える力って何ですか？

答え：考える力は、「問題に書かれていることがわかる力」、決める力は「問題のとき方・答え方を決める力」、伝える力は「ほかの人にわかりやすく伝える力」です。

通学路の<sup>つうがくろ</sup>とちゅうに<sup>わ</sup>和がし屋さんが<sup>や</sup>あり、その<sup>てんいん</sup>店員さんは、下校のときもよく声をかけてくれます。たかしさんは、町たんけんのときに、その店員さんに話を聞きました。

たかし：こんにちは。今日はよろしくおねがいします。さっそくですが、このお店でいちばん人気のあるおかしはどれですか。

店員さん：1年を通じて<sup>しおだいふく</sup>塩大福がよく売れるよ。<sup>はこ</sup>箱入りだと4こ入りと8こ入りがあるけど、1つからでも売っているよ。

たかし：決まった<sup>しき</sup>時期しか売っていないおかしもありますよね。

店員さん：そうだね。春はさくらもちやかかしわもち、夏は水ようかんやくずまんじゅう、秋はおはぎやくりまんじゅう、冬はうめやうさぎをかたどったおかしを売っているよ。きせつを<sup>かん</sup>感じさせるからね。

たかし：いろいろ教えてくださって、ありがとうございました。

問題 この和がし屋さんが、下線部のようにしているのは、なぜだと考えられますか。自分の考えを書きましょう。

かいとうらん

▶かいとうが書けたら、うらめんのかいとうれいとかいせつを見てみよう！

## かいとうれい

(例) いろいろな数にたいおうするため。  
ほしい数を買えるようにするため。

## かいせつ

この和がし屋さんでは、塩大福は、箱に入った4こ入りと8こ入りで売っています。そのほかに1つからでも売っていることが、お客さんにとって、また、お店にとって、どんな良い点があるかを考えてみましょう。

お客さんにとって良い点には、ひとり暮らしや2人家族の家庭などでは、1こや2こといった、少ない数を買いたいと思っているお客さんが買いやすいことがあります。

また、お店も、少ない数を買いたいと考えているお客さんにすぐにたいおうすることができます。

答えは、「そのほうがよいから」といった内容ではなく、「ぐたいてきにしっかりとよいと考えられる理由」が書けていることで、せつめいしていると言えます。

「明日の学力」診断では、問題文に書かれていることを手がかりにして、答えを考え、ほかの人にもわかるようにひょうげんする力をみています。

せいかいは一つでも、考え方やそれを伝えるほうほうはいくつもあります。せいかいにたどりつけないときでも、自分の考えのひょうげんをめざしてください。